

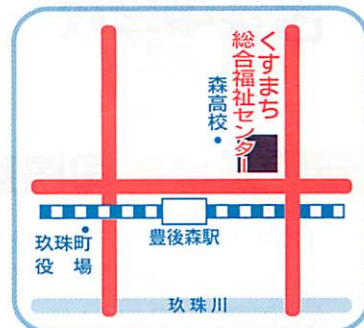
地域福祉だより

No. 46



# めるへん

社協発



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816  
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

～手を取り、声をかけあい、助けあう地域社会をめざして～  
**支えあうまちづくり事業を推進していきます!**



## 目的

- (1) 地域住民の「総参加」をめざします。
- (2) 誰かが見守ってくれている、「安心感」のある暮らしの実現をめざします。
- (3) 地域のあらゆる機関・団体・会社等と手を取り合い「連携」による支援体制をつくります。

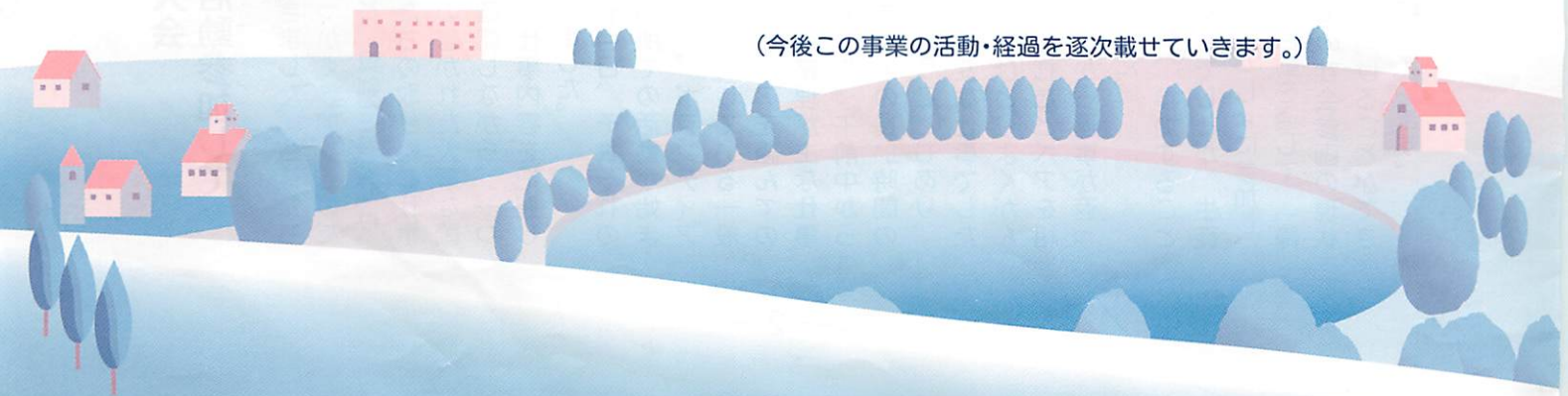
人は誰でも、住み慣れた家や地域で安心して暮らしていきたいと願っています。様々な理由で何らかの手助けや援助がなければ生活の維持が難しい人々がたくさんいます。

社協ではこうした方々が安心して生活し続けられるように、今年度より「支えあうまちづくり事業」を町内全域において推進します。

この事業は、介護や子育てから災害時の救援まで、何らかの援助を必要としている方々に対し、日頃関わりを持つ周囲の人たちが、日常生活の延長で見守りや声かけを行ない、その方々が地域で孤立することなく安心して生活できる支援体制づくりを行ないます。特に自治区毎の支援づくりが必要となります。

お互いがお互いを支え合う事業、是非ご協力下さい。

(今後この事業の活動・経過を逐次載せていきます。)





古後中学校

# 大分国際車イスマラソン ボランティア活動記

## 〈プロジェクトその1〉 国際車イスマラソンへボランティア参加してみる

10月30日（日）、風もあり寒さを感じたものの晴天。

この日、玖珠町立古後中学校全校生徒と先生18名は、大分国際車イスマラソン大会のボランティア活動に参加しました。

“少人数の学校”という特色を活かした活動をやってみよう！と、みんなで話し合い、このプロジェクトははじまりました。

古後中学校は、平成16年度より3年間大分県社会福祉協議会の「ボランティア協力校」として指定を受け、積極的に活動をすすめています。



午前8時過ぎに大分市市営陸上競技場に到着後、真剣に大会の留意事項説明を聴く参加者たち。



一般参加の方とも和気あいあいと活動。スムーズに大会が進むようコース横の車道から車が入ってこないように交通整理をすることが割り当てられた重要な仕事です。



選手が県庁前をスタートして約40分、折り返し地点に続々と選手がやってきました。「みんながんばれ〜！」応援にも力が入ります。

## 国際車イスマラソン大会 ボランティア活動参加して



古後中学校教諭  
遠山 和 幸

今年、私の勤務する古後中学校は、国際車イスマラソン大会にボランティア活動の取組みの一環として参加する機会がありました。このボランティア活動に参加するのは、初めてのことです。

参加する前に事前学習として、車いすマラソン大会についての説明を行いました。車いすマラソンのことやレースのようすを説明していくうちに、生徒たちにも興味が少しずつ出てきたようです。

また、マラソン大会の事務局から1人ずつ頂いた資料を、ていねいに説明していききました。とても厚い資料でしたが、目を通す重要な所に付箋をし、その箇所を中心に説明し

ていきました。生徒たちもせっかく参加するのだからと、真剣に耳を傾け、自分たちの取り組む仕事内容の書かれた大事な箇所を確認しながら、一つひとつ仕事内容を把握していきました。

大会当日、それぞれの配置箇所での活動が始まりました。ボランティア活動に参加している一般の方々とペアを組んでの車の交通整理が主な仕事内容でした。午前中から昼過ぎまでの長い時間の活動ということもあり、とても大変な仕事でしたが、一人ひとりよくがんばってくれたとペアを組んだ方々から返事が返ってきました。

私自身、参加することが初めてでしたが、生徒たちといっしょに参加し、実際の活動を通して、「障害」者の社会参画の現状に目を向けることができたと感じています。



## 〈プロジェクトその2〉 障害について学ぶ

11月11日(金)には、その車イスマラソン出場した選手の一人を古後中学校へお招きし、さらに障害についての学習を深めました。

講師に招いたのは、辛島裕樹さん。大分国際車イスマラソンには過去8回出場していて、現在別府で一人暮らしをしながら大分市内の病院に勤務、身体障害者スポーツ指導員としても活躍されています。

高校生の時に脳障害を負い車イス生活になりましたが懸命なリハビリで社会復帰を果たし、その経験をもとにした本も執筆、出版されています。



講師の辛島さん。  
スライドを使い、約90分間「しょうがいってなあに」と題して、分かりやすい話をしてくれました。



2階のホールで勉強会は開かれたため、みんなで協力して辛島さんを1階へ。建物のバリアはあっても、みんなの心のバリアはすでにないようですね。



興味深い意見や質問をして下さった生徒さんたち。

今年、古後中学校は国際車イスマラソン大会ボランティア活動に参加しました。先生から、「ボランティア活動に参加する」と言われ、いろいろと説明を聞いていたら、最初はすごく大変そうだなあと思いました。

大会当日、僕たちは旗を持ってコースの沿道に立ち、交通規制や応援に来てくれた人たちが沿道に出ないように注意をする仕事を行いました。

コースには、小さい子どもからおじいさんやおばあさんがたくさんいて、旗を振って応援していました。選手の乗った車イスが、目の前をすごい速さで何度も通り過ぎていきました。最初はちょっと恥かしかかったけれど、一生懸命がんばって近づいてくる車を止めたりしました。とても疲れたけどやりがいのある仕事ができ、いい経験になったと思います。テレビで何気なく見ているマラソンでも、ボランティアの人がいるから安心して見られるのだと思いました。また、機会があれば参加していきたいです。



古後中学校2年生  
本田 和史

### ボランティア活動を通して

車イスマラソンが終わってしばらくしてから、事後学習として、大会に参加している辛島さんという方から話を聞く機会がありました。

僕たちは普段、このような話を聞く機会がなかったのですが、とてもいい話が聞けました。僕は今まで障害のある人たちが日頃、どのような事を思いながら生活しているかなど考えた事がありませんでした。でも、辛島さんの話を聞いて、生活の中で出かけるたびトイレがあるかないか、「障害」者専用駐車場があるかどうかといったことを、いつも気にしないといけないという話を聞いて、とても大変だと感じました。

また、「障害」者の方たちが取り組んでいるスポーツの現状の話を、辛島さんは写真を交えて紹介してくれました。障害のある人も僕たちと変わらず、いろいろなスポーツに取り組んでいることも知ることができました。中でも僕は、オフロッドホイルチェアがすごく気になり、一度やってみたいと思いました。これから先、障害のある人と健康な人がいがいのない社会で一緒に暮らせていけるよう、バリアフリーが広がっていけばいいなと思います。



# 1月のスケジュール

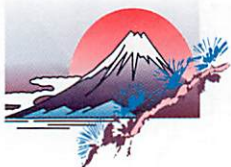
| 日                                  | 月                                    | 火                                                                         | 水                                                                       | 木                                                        | 金                                                                               | 土                                 |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| <b>1</b><br>(元日)<br>■福祉センター<br>定休日 | <b>2</b><br>(振替休日)<br>■福祉センター<br>定休日 | <b>3</b><br>■福祉センター<br>定休日                                                | <b>4</b><br>(仕事初め)<br>■ふれあい福祉バス<br>(小清原・鳥屋)                             | <b>5</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(小野原)                           | <b>6</b><br>■巡回相談会<br>(北山田)<br>■ふれあい福祉バス<br>(萩ケ原・野平)<br>■いきいき元気教室<br>(福祉センター)   | <b>7</b><br>■おもちゃ図書館<br>(福祉センター)  |
| <b>8</b>                           | <b>9</b><br>(成人の日)                   | <b>10</b><br>■福祉センター<br>定休日<br>■ふれあい福祉バス<br>(朝見)<br>■いきいき元気教室<br>(福祉センター) | <b>11</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(小清原・鳥屋)                                      | <b>12</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(小野原)<br>■いきいき元気教室<br>(福祉センター) | <b>13</b><br>■巡回相談会<br>(森)<br>■在宅障害者総合相談会<br>(役場福祉保健課)<br>■ふれあい福祉バス<br>(萩ケ原・野平) | <b>14</b><br>■おもちゃ図書館<br>(福祉センター) |
| <b>15</b><br>■給食サービス               | <b>16</b><br>■福祉センター<br>定休日          | <b>17</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(朝見)                                            | <b>18</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(小清原・鳥屋)<br>■いきいき元気教室<br>(福祉センター)<br>■民協定例委員会 | <b>19</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(小野原)                          | <b>20</b><br>■巡回相談会<br>(玖珠)<br>■ふれあい福祉バス<br>(萩ケ原・野平)<br>■いきいき元気教室<br>(福祉センター)   | <b>21</b><br>■おもちゃ図書館<br>(福祉センター) |
| <b>22</b>                          | <b>23</b><br>■福祉センター<br>定休日          | <b>24</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(朝見)<br>■いきいき元気教室<br>(福祉センター)                   | <b>25</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(小清原・鳥屋)<br>■給食サービス                           | <b>26</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(小野原)<br>■いきいき元気教室<br>(福祉センター) | <b>27</b><br>■巡回相談会<br>(八幡公民館)<br>■ふれあい福祉バス<br>(萩ケ原・野平)                         | <b>28</b><br>■おもちゃ図書館<br>(福祉センター) |
| <b>29</b>                          | <b>30</b><br>■福祉センター<br>定休日          | <b>31</b><br>■ふれあい福祉バス<br>(朝見)                                            |                                                                         |                                                          |                                                                                 |                                   |

## 玖珠町ふれあい福祉バス運行時刻表 路線バスの通っていない地域に4月より福祉バスが運行されています。

|   | 福祉バス  |      |        |       | ワゴン車  |      |        |       |
|---|-------|------|--------|-------|-------|------|--------|-------|
|   | 行き    | 時刻   | 帰り     | 時刻    | 行き    | 時刻   | 帰り     | 時刻    |
| 火 | 朝 見   | 8:45 | 福祉センター | 13:45 |       |      |        |       |
| 水 | 小 清 原 | 8:35 | 福祉センター | 13:10 | 鳥 屋   | 9:00 | 福祉センター | 14:00 |
| 木 |       |      |        |       | 小 野 原 | 9:00 | 福祉センター | 14:30 |
| 金 | 萩 ケ 原 | 8:45 | 福祉センター | 13:45 | 野 平   | 9:00 | 福祉センター | 14:00 |

(事務局)

みなさん方も来年こそはと心に期するものがあるのなら、是非今からでも準備を整えてみてはいかがでしょうか。



今年も残すところあと半月足らずとなりました。先月号では今年の出来事を思い返しはじめたことを書きましたが、いよいよこの時期になると新年をどのように迎えるかと考えはじめます。良い迎え方をすることで良い一年が決まると勘違いしている感ではあります。しかし準備をすることは大切だと思えます。全てがそうであるとは限りませんし計画倒れになることもあるかもしれません。が、良く準備をしておくことが良い結果を招くことに繋がるのではないのでしょうか。

## 編集後記



## みなさんの声募集中

めるへんでは皆様の声を募集しています。紙面に関するご意見、ご質問又は福祉に関する疑問など何でもOK。もし何かございましたら玖珠町社会福祉協議会までお寄せ下さい。